

2016年9月12日発行
発行人：小池剛
発行所：〒650-0024 神戸市中央区
海岸通8神港ビルヂング625
TEL：078-393-0050
FAX：078-393-0051
E-Mail：kobekeio@dream.ocn.ne.jp
URL：<http://www.kobekeio.org/>
編集人：鳥巢慶太／天竹清裕

～家族例会～

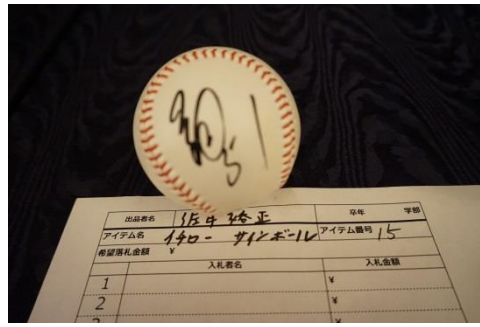
今泉良太（平10経）

平成28年7月9日土曜日、ANAクラウンプラザホテル神戸35階のスカイバンケットにて家族例会が開催されました。奥様やお子様も含め、45名の方が参加され、和気あいあいとした雰囲気の中で盛大に行われました。

堺会長より開会のご挨拶の後、五代先輩に乾杯のご発声を頂戴し、会が始まりました。しばしの歓談の間にパノラミックな景色とともに、美味しいお料理を存分に楽しませていただきました。プロシャンソン歌手の玉田さかえ様をお迎えしてのシャンソンショーでは、シャンソンを堪能し、リクエストによる「ろくでなし」も聞く事ができました。シャンソンをなかなか聞く機会がなかった私にとって貴重な体験をさせていただきました。

そして、恒例のオークションも開催され、浦上ご夫妻の名司会の下、イチローのサインボールや阪神タイガースのチケット、松岡修造さんのサイン色紙等のなかなか手に入らないものや、五代先輩の絵画、中神先輩からは東天閣のお食事券のご提供をいただき、徳丸副会長からの寄付金10,000円を含め、目標の200,000円をクリアし、200,500円の売上となりました。たくさんのオークションへの出品、ありがとうございました。大澤副会長より中締めのご挨拶を頂戴し、松尾副幹事長のエールの下、若き血を合唱し、楽しい会はお開きとなりました。





～6月例会レポート～



藤本華子（平16法）

6月14日（火）18時30分から神港ビル7階会議室にて6月例会が開かれました。

今回の例会では、講師に慶應義塾大学商学部教授の中島隆信先生をお招きしました。中島先生は1983年慶應義塾大学経済学部をご卒業、応用経済学がご専門で、財務省等の国家究機関等でご活躍され、2001年慶應義塾大学商学部教授にご就任されました。「大相撲の経済学」、「おばさんの経済学」、「刑務所の経済学」等、多数の著書を執筆されています。今回の講義では、「スポーツに見る日本社会～大相撲と高校野球を例として～」との題で経済学的視点から長年続いている大相撲と高校野球を分析していただきました。

大相撲は400年、高校野球は100年続いており、経済学的合理性だけではなく、様々な要素を取り込みながら長く続いている大相撲と高校野球を分析することで、日本社会の縮図が見え、その背景にある強さを探ることができ、日本社会の将来を予測し、何を守り、何を变えるべきなのかを考えることができるそうです。

最初に、大相撲の経済学では、大相撲が競争制限的であること、競争を制限する理由に特徴があると分析されました。

まず、大相撲には、個人総当たり禁止、移籍再入門禁止、入門年齢制限などの決め事があり競争制限が働いています。また、年功制であり、報奨金制度を見ると勝ち越し1点につき0.5円加算され、その4000倍が場所ごとに支払われます。また、曖昧なルールなども挙げられ、立会いや物言い、団体取り直しなどは観客に対する見世物の色彩が濃く、勝敗にとことんこだわるのではなく観客を喜ばせる商業性

の面が強いと仰っていました。

このように競争を制限する理由としては、転用が難しい人的資本が挙げられます。転用が難しい人的資本を理事等に置き、相撲の世界にどっぷり使った人の生活を守ることで内々で組織を固めることができ、相撲独自の文化を守れます。内部完結的な世界を守るためにも競争を制限しているといえ、そうしたことから、大相撲は文化性・競争性・商業性の三要素を併せ持つ独自性があると説明されていました。

次に、高校野球の経済学では、高校野球は非効率的なスポーツであること、ドラマ性があること、“高校生らしさ”の形成があることに特徴があると分析されていました。

非効率という点では、少ない動き、硬いボール、長時間の練習を挙げられました。ドラマ性という点では、ピッチャーとバッターに注目されることから個人的競技的要素があり、審判の介入が多く審判の役割が大きいこと、間が多く観戦しやすい競技になっていることを挙げられました。さらに“高校生らしさ”の形成という点では、野球は元々アメリカから伝わった学生の遊びといった面がありましたが、それを教育・スポーツマンシップ・文化性・非商業性といった大義名分をつけ、遊びから人々が求める“高校生らしさ”の形成を図りました。そのようにして、高校野球は非商業性のなかで、競技性・教育性・文化性の3つの条件がうまく成り立った他にはないスポーツに発展したと説明されていました。

最後に、大相撲と高校野球から日本社会の比較をすると、日本社会は世界標準を目指すのか、ガラパゴス文化を図るのかの選択を突きつけられていると仰っていました。

ハイブリッドな世界、世界標準を目指すならば、明確なルール、透明性、広い市場が手に入りますが、一方で空洞化のリスクがあります。他方、ガラパゴス文化を図る選択をすると、利益の分け合い、生き残りの戦略ともなりえますが、一方で市場縮小のリスクがあります。人口減少の日本社会で市場縮小のリスクは大きいものがあると説明されました。

以上、日本社会の二つの選択肢を示されて講義を終了されました。最後に、木村副会長から締めのご挨拶を賜り、24名のご参加のもと無事に例会終了となりました。

~9月例会~



会員だより

《新入会のご挨拶》



山田積慶（平 18 法）

皆様、こんにちは。
この度、神戸慶應倶楽部に入会しました山田積慶と申します。

神戸には 2010 年から住んでおまして、気づいたら 6 年が経っていました。

神戸に来てまず驚いたのが、パンやスイーツが美味しいこと。酒やタバコのかわりにスイーツにお金が飛んでしまう日々を過ごしております。（余談ですが『スイーツ男子』という言葉が浸透した際は、「世の中が遂に自分に追いついた」、と思ったものです。）

そんな私のオススメのお店は umie の中にあります、Eggs 'n Things です。写真のような山盛りのホイップタワーのパンケーキも勿論のこと、オムレツ等の卵料理も絶品です。現在私は独り身のため、このようなお店に行く際は単身で突撃しております。ご興味がありましたら、ご一緒に来てくださる方を募集中です！

《新入会のご挨拶》

松沢尚浩（平 16 経）

はじめまして、平成 16 年経済学部卒業の松沢尚浩と申します。

私は、生まれは中央区の下山手通りで、6 歳の時に中央区の熊内橋通に引っ越しました。中学受験で、関西の学校に失敗し、中学・高校と 6 年間、愛媛県の愛光学園という学校で、男子校・男子寮（現在は、共学）という濃い生活を送りました。

大学は、縁あって慶應義塾の門戸を叩く事ができ、卒業後は、6 年間東京で、生命保険の営業・ベンチャー立上げ等を行い、2010 年より貿易を営む神戸の父の会社に戻って参りました。

私は神戸の台湾華僑でして、以前は、李尚浩と名乗っていました。今でも神戸の知人には私の事を、李一ちゃんと呼ぶ人もいます。スポーツが好きで、中学・高校時代はバスケットを、義塾時代は、ダンスサークルに所属しダンスを、現在は、サーフィンを趣味としております。

若輩者ではありますが、大先輩方に少しでもお近づきになれたらと思います。どうぞ、今後ともよろしく願いいたします。

《新入会のご挨拶》

片山大介（平 4 理工）

平成 4 年・理工学部卒業の片山大介と申します。兵庫県選出の参議院議員を務めております。

この度、入会させて頂き、有り難うございました。

私は、今年 7 月に行われた参院選で初当選させて頂きましたが、それまで、24 年間、NHK の記者をしておりました。私の記者時代の原点は、21 年前の阪神・淡路大震災の取材です。

あのときに、被災者の方々を取材しながら「困っている人をどう助けていけばよいのか」と真剣に悩んだことが、その後の私の問題意識の原点になっています。

その神戸で、皆さまと、さまざまな交流をさせて頂けることを、大変うれしく思っています。

理工学部時代の思い出は、三田キャンパスに行けずに、矢上キャンパスで育ったことです。そのため、慶應ボーイらしい遊びを経験せずに大人になりましたので、ぜひ、いろいろと教えて頂ければと思います。どうぞよろしく願いいたします。



《新入会のご挨拶》



上本英未 (平 26 文)

平成 26 年度に文学部を卒業いたしました、上本英未(うえもとえみ)です。神戸で生まれ育ち、大学卒業と同時に生まれ故郷に帰って参りました。

慶應での思い出といえば、体育会ゴルフ部での活動です。中学・高校は英語演劇部に所属し、スポーツとは縁のない生活を送っておりましたが、スポーツにも挑戦しようと、入部を決意いたしました。4 年間の努力も虚しく、ゴルフ部出身と名乗るには恥ずかしいレベルですが、引退後も細々と続けております。皆様、機会がございましたら是非ご一緒させて下さい。

入会させていただいたからには、フットワーク軽く、会員の皆様と交流を深められたらと思っています。若輩者ではございますが、今後ともどうぞよろしく願いいたします。

《新入会のご挨拶》

田村圭子 (昭 49 文)

自己紹介文のご依頼を受け、遙か昔の大学時代の記憶の糸を手繰り寄せました。

日吉駅の近くにあった「ザベス」と呼ばれていた小洒落た喫茶店(正式名称は多分エリザベス)で自立した大人のオンナ気取りでお昼を食べて悦に入っていたこと、天井桟敷で一幕見がしたくて、ほぼ毎日三田から歌舞伎座に通っていたこと、バーディの合宿で下手クソ過ぎて疲れ果て、ふて腐って「ゴルフバッグを放置して帰る」と言って駄々をこね、先輩に残りのホールをパター以外全部打ってもらったこと、そのくせ夜は誰よりも元気に食べて飲んで浮かれていたこと等々、思い出すのはこの手のことばかりで、我ながら呆れています。半世紀近くが経ち、流石にもう少しはマトモな人間になったと自分では思っていますが、楽しいこと・美味しいこと・未知のことには目が無くて、どこにでもすっ飛んでいく性格はいまだに変わり

ません。神戸慶應倶楽部という新しい世界に心が躍ります。どうぞよろしくお願い致します。

《新入会のご挨拶》

刀禰ひかり (平 23 文)



はじめまして。平成 23 年文学部卒業の刀禰ひかりと申します。この度は、幹事長の小池剛様にお誘い

いただきました。神戸慶應倶楽部に参加させてくださり、ありがとうございます。私は大阪府出身ですが、高校から関西を離れ、NY 高、文学部を卒業後再び関西に戻ってきました。趣味は旅行やドライブなど、いろんな場所に出かけることが好きです。また生粋の犬好きで 4 匹飼っております。神戸慶應倶楽部の皆様と素敵な時間を過ごせることを非常に楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。

《新入会のご挨拶》

中村利充 (平 18 商)

はじめまして、平成 18 年商学部卒の中村利充です。生まれも育ちも東京ですが、前職の東レ時代 10 年間大阪勤務であり、この度ソニー生命保険に転職したことにより大阪勤務の神戸住まいがほぼ決定的になりましたので、神戸慶應倶楽部に入会させて頂くことになりました。

慶應の歩みは中等部→塾高→大学です。中等部から大学まで話題沸騰中のラグビー部に所属しており、大学でも体育会蹴球部で続けていました。そのため慶應の思い出は、99%ラグビーになるのですが、幸いにも関西はラグビーが盛んのため休日に観戦に行くことも多いです。ラグビーに興味がある方は優しいルール解説をしますのでも是非お声掛けください。神戸慶應倶楽部では月例会を始め、好きなゴルフも定期的開催されていることですので、積極的に参加をさせて頂きたいと思っております。よろしくお願い致します。

同好会だより

【KKJC】《活動報告》



毎年行われるジャズツアーですが、今年は、6月4日～5日、ますます面白く、目が離せない東京へ行ってきました。

まずはKKJC会員とKKK（慶應軽音楽鑑賞会）OB会との総勢80名がジャズライブハウスの老舗、銀座SWINGに集合、世話人 大場知之さんの司会で、鍋島直昶大先輩（vib）、パナソニック役員にしてピアニストの塾員小川理子さん、東京からは小林真人さん（b）、木村オウジさん（ds）を迎え、2時間余りのライブ&セッションを楽しみました。昼間聴くジャズもなかなかいいものでした！

終了後、宿泊先のシェラトン都ホテル東京に移動、チェックインを済ませてから直ちに合同パーティーの会場である慶應三田キャンパスへと向かいました。パーティーの始まる前に構内を散策。第一校舎前の銀杏は大木になり、傍にあるベンチも健在で、学生時代のことが懐かしく思い出されました。KKJCとKKKとの合同パーティーは、これまた懐かしい「山食」で行われ、鍋島大先輩の卒寿のお祝いをしてから、会食、歓談に移り、とてもなごやかなタベとなりましたが、ここで終わりとはならず、二次会は赤坂のリトルマヌエラへ繰り出し、飲む、聴く、奏でる、歌うと深夜まで大いに盛り上がりました。

ツアーの二日目は、はとバスをチャーターして東京観光にいざ出発。見学のスタートは六本木ヒルズ・東京シティビュー（52F）にある展望フロアへ。海拔250メートルからの都市の眺めは圧巻でした。現代の東京を象徴している所から、次は趣がらりと変わって、白金にある八芳園へ。昼食後に庭園を散策しましたが、「四方八方どこを見ても美しい」に由来する名前の通りの、情緒あふれる名庭園にう

っとりしました。

余韻を残しながら、次は、おいしい物が集まる東京の台所である築地場外市場へ。卵焼き、豆、昆布、佃煮等がずらりと並んだお店のお土産つきの味めぐり。立ち食いに、ショッピングにとあれもこれも楽しくなってしまうような時間を過ごしました。

ツアーの最後は、車窓からレインボーブリッジを眺めながら、若者や、家族連れでにぎわう、魅力満載のエンタメアイランドのお台場シティに到着。TV局でのアトラクションの見物、ショッピング、散策等自由に時間を過ごし、いよいよコースのラストは、お台場ミニクルーズ。心地よい潮風に吹かれながら、つい、うとうととする間もなく日の出桟橋で下船、バスは一路東京駅へ。親睦をさらに深めたメンバーの方々と別れを惜しみながら解散となりました。

毎度のことながら、世話人 大場さんの卓越した企画力、実行力、ホスピタリティのお蔭で、このような楽しいツアーになったことに心から感謝するとともに、今から来年のツアーを楽しみにしています！

KKJC 榎根みづえ(昭41卒)



【読書会】《神戸慶應倶楽部読書会第45回》

第45回目の学問のすすめ読書会は、平成28年7月12日（火）に阪本豊起評議員の事務所で行われました。

この日はまず、堀切先輩から「戦後経済史は嘘ばかり」（高橋洋一著 PHP出版）が紹介されました。堀切先輩が読書会でも語ってこられた戦後の経済の問題意識がよく纏められているとのことでした。

続いて、六拝から三田藩と福沢先生との繋がりに関して、最近発行されたNPO法人歴史文化財ネットワークさんだ編纂の「さんだ人物史」という冊子に福沢先生が三田に及ぼした開明思想家として紹介されていること、三田市郷土文化研究会機関紙「三田史談」第34号（平成26年4月発行）に三田の郷土史家藤田裕彦氏が、「三田藩への福沢諭吉翁の影響」という記事を掲載されていること、福沢先生と三田藩藩主の九鬼隆義を繋いだ川本幸民に関しては、藤田裕彦氏の「薩摩藩主島津斉彬にスカウトされた…蘭学者川本幸民」という小冊子（三田市郷土文化研究会 平成28年5月発行 頒価500円）に詳しく紹介されていることが報告されました。

なお、藤田氏は、甲南大学のOB、アサヒビールのOBですが、三田の郷土文化史の研究者ということで、宝塚慶応倶楽部から「三田藩への福沢諭吉翁の影響」というテーマで話を聞きたいという依頼を受けたことから、研究され、同じ表題で纏められたものだそうです。このなかに『文明論之概略』が「西洋に対して文明的に遅れた日本が『自国の独立を維持するためには何が必要か』という視点から、各国の文明の由来と実態を論じた。諭吉の文章は（当時としては）平易だったので、広く読まれた。その文明思想は、覇気に欠ける感がある現代でもなお思想的な価値を失わず、輝かしい光彩を放っており、」と紹介されています。読書会のほうは、文明の概略巻の一第3章「文明の本旨を論ず」を読了しました。

今回の読書会は、平成28年9月15日（木）18：30から、阪本評議員の事務所（建隆ビルⅡ3階）で行います。巻の二に移り、第4章「一国民の知徳を論ず」からです。前回の出席者以外の方は阪本まで事前にご連絡頂ければ幸いです。

読書会世話役 阪本豊起

【イーゼル会】

《今月の絵》 村田修一（昭39商）



会員寄稿

<<淡路島観光記

～八浄寺と伊弉諾神宮を拝して～>>

顧問 上島康男 (昭33法)

淡路島には国立淡路島七福の里に、八浄寺に大黒天(インド、賤福、食物の神様)、宝生寺に寿老人(中国、長寿の神)、覚住寺に毘沙門天(インド、勇気の神)、万福寺に恵美酒大神(日本、律儀の神)、護国寺に布袋尊(中国、和合の神)、長林寺に福祿寿(中国、大望の神)、智禅寺に弁財天(インド、知恵の神)があります。

前述の如く、七福神は発生の異なる国の神々様ですが、一つの船に乗り、それぞれのお役目を分担し、人間を幸せにしてくださる有難い神様方であり、淡路島を一艘の船に見立て、この七福神巡りのコースが設けられています。

この度、淡路島七福神霊場総本院の八浄寺に大黒天様のお詣りと、兵庫県で唯一の神宮である伊弉諾神宮へ参拝することとなり、淡路島を訪れました。

スムーズに明石海峡大橋を渡り東海インターに出て、海岸沿いの一般道路を走ると、高速道路とは異なる風光明媚な海岸他の景色を眺めることができ、穏やかな気分になりながら、一目の訪問先である八浄寺に到着しました。

山門を入ると、黄金の相輪が美しく輝く大塔や、大師堂、七福神の福水手洗い等を横目に見ながら本堂へ向かい、一番奥(正面に向かって左側)に鎮座されている2m大の極彩色美しい甲子大黒天像(大きな袋を肩にかけ、打出の小槌を持たれている)の前に座り、大木裕史僧正様から、弁説豊かなご説法を拝聴しました。

その中で、甲子大黒天の由来や(一千年に一回と云う、甲子の年の甲子の月の甲子の日の甲子の刻である昭和五十九年一月二十六日午前零時に開眼入魂を行われたので、甲子大黒天と称されている)、秘仏開運大黒天は不動明王の靈示により現形された類も見ないご尊像であること(一般のイメージとは全く異なる観音様のようなお姿で、全国

でこの寺のみとのこと)をお伺いし、大きな大黒天像の奥にある古びた廟の中に納められているとのことでしたが、ご開帳日が決められていて、拝観はできませんでした。

外に出ると、きらびやかな高野山の真言秘教の最高宝塔の瑜祇塔と同形の大日如来と、七福神を祀る大きな瑜祇七福塔があり、このお寺のご住職が考案された多くの仕掛け(採光の仕方等)があるとのことでしたが、拝観する余裕がなく、後ろ髪を引かれる思いで、伊弉諾神宮に向け出発しました。

途中、洲本の海岸を走っていると岸壁に大きな海上風力発電機が見えてきました。七月二日の新聞で、この発電機は日本初の海上風力発電機の実験機(高さ150m)の三台目で、東北に海上輸送されると云う記事を読み、偶然にせよ、日本初の実験機が見られたことも良い思い出になりました。

さて、伊弉諾神宮ですが、ご祭神は伊弉諾尊と伊弉冉尊の二柱です。日本の神話をご存知かと思いますが、少し触れてみますと、古事記の早々に書かれているのが、伊弉冉尊が天の浮橋より「鉾」で海をくるくる混ぜられると、その鉾の先から海水がしたたり落ち、塩の島ができたので、伊弉諾尊と伊弉冉尊とがご降臨され、夫婦の契りを結ばれ、国生み(大八島続いて六島)をされ、最初に生まれたのが淡路島とされています。国生みを終わると、神生み(三十五柱の神)をされました。

しかし、伊弉冉尊は、火の神をお生みになった時の火傷で亡くなりました。伊弉冉尊を慕っていた伊弉諾尊は、黄泉の国まで会いに行かれましたが、願いは叶わず、黄泉の国からお戻りになり、穢れた身を清められる際に多くの神々をお生みになりました。最後に顔をすすがれたところ、左の目を洗われた時に天照大御神が、右の目を洗われた時に月読尊が、鼻を洗われた時に素戔男尊が生まれました。

そして、伊弉諾尊は国生み神生み全ての神功を果たされ、地上の国家統治を御子神の天照大御神に移譲され、ご自身は最初に生まれた淡路島の多賀の地に幽宮を構えて余生を過ごされ、その御住

居跡に濠で囲まれた小さな円形の御陵が築かれ、その聖地に最古の神社が創始されたのが、伊弉諾神宮の起源とされています。

神宮の大鳥居をくぐると、国歌の歌詞にある大きな「さざれ石」が設置されていました。長い参道を歩き、二の鳥居をくぐると、濠の跡が一部放生神池として保存されていて、その池に架かっていた橋を渡り、表神門をくぐり、禰宜様のご案内でいよいよ拝殿へ、東側の階段を上ると、拝殿は畳敷きの大広間が東西に、中央には板間の舞殿がありました。

奉賀帳に記帳後、禰宜様の祝詞奏上に続いて御幣でお祓いを受け、お二人の巫女様の神楽の舞を拝観した後、幸いにも神前に玉串の奉典が許され、拝殿の北側から階段を降り、約 10m北の神殿で拝礼させていただきました。

その後、本名孝至宮司様のご挨拶にお出ましくださり、伊弉諾神宮の由縁等を詳しくご説明いただきました。当初、祭神は伊弉諾尊一柱を祀っていたが、昭和七年に国生み、神生みの神は伊弉諾尊と伊弉冉尊の二柱であったとし、二柱を祭神とされるようになったとのことです。「伊弉冉尊は亡くなられて黄泉の国に行かれたのに、どうしてこの神宮に祀られているのか」と疑問でしたが、ご説明を承り納得した次第です。また、当初は単なる地方の神社で、その後呼称や格式は変わりましたが、昭和二十九年に「神宮」の称号が与えられ、兵庫県下で唯一の神宮になったとのことでした。

そして、元々は小さいが円形陵があり、その前に神殿があったのですが、明治十五年に陵を削りとり、その上に現在の神殿が構造され、神殿の中の陵があった跡に太い神柱が建てられていて、結婚式で新郎新婦が一周すると夫婦円満の幸せが与えられるとのことでした。私もこの柱は玉串奉典の際、目の前で拝見しましたが、神殿の中に太い柱があるのは初めてでした。また、この伊弉諾神宮の位置は、伊勢神宮の真西にあり、御子神である天照大御神を東の太陽神とされ、伊弉冉尊は御親神ですが、西の月神とされているとのことでした。

退席の際に、他の方々はお神酒を召し上がっていましたが、私がお酒を飲めないことを伝えると、そのお酒をしぼった酒粕で作った飴をいただきました。これも初めてのことで驚き、尋ねますと、お車でいらっしゃる方が多いので、少し前からお配りしているとのことで、時代の変化に感銘を受けた次第でした。

帰り道は、売店の中を通り抜けるとバスの駐車場へ直接行くことができ、短路で助かりました。

BRB 放送局 (不定期連載)

<#8 「レオナルド藤田展」と「君の名は。」>

BRB 編集長 鳥巢慶太

先日、兵庫県立美術館「レオナルド藤田展」と映画「君の名は。」を見てきました。どちらもとても感動し、ここに書かずにはいられませんでした。

レオナルド・フジタ（藤田嗣治）は、フランス及び世界で認められた数少ない日本人画家の1人です。フジタは27歳でパリに渡り、日本と戦争に翻弄されながら数多くの作品を残しました。レオナルド藤田展では、これらの作品が数多く展示されています。第1の印象は、これは本当にフジタ1人が全部書いたのか、というほど作風の違う様々な作品が展示されていることです。これ以上は書きません。9月22日までです。見て下さい。

映画「君の名は。」、岸恵子の映画でなく、現在公開中のアニメーション映画です。監督は新海誠、宮崎駿引退後、活躍が期待されている監督の1人です。内容は言いません。感動します。泣きます。音楽もすばらしいです。是非見てください。

次は「松本零士・牧美也子夫婦コラボ展」神戸ゆかりの美術館に行ってきます。



[若手会]

6月25日(土)に「神戸慶應倶楽部シニア VS 若手会ゴルフコンペ」に若手10名が参加しました。結果は…(先輩方に多大過ぎるハンディをいただき)見事若手会の初勝利となりました!

7月1日(金)、15回目の若手会を開催しました。初参加の方を含む7名の参加と、前回に比べ少人数となりましたが、近況報告や学生時代の思い出話等、大いに盛り上がりました。



[今後の予定]

~~読書会~~

日時：9月15日(木) 18:30~
場所：阪本評議員の事務所(建隆ビル3階)
会費：3,000円
☆新たに参加ご希望の方は、阪本評議員までご連絡ください☆

~~関西合同三田会 in OSAKA~~

日時：9月24日(土) 10:30 受付
11:00 記念式典開始/13:00 懇親会開会
場所：シェラトン都ホテル大阪(上本町)
会費：大人(高校生以上) 10,000円
子供(小中学生) 5,000円 小学生未満無料
最終締切：9月15日(木)
☆参加ご希望の方は、事務局まで氏名・卒年・学部をお知らせください☆

~~慶早ゴルフコンペ~~

日時：9月21日(木)9:00 集合/9:30 スタート
場所：神戸ゴルフ倶楽部
会費：7,000円 (プレー終了後すき焼き懇親会)
プレーフィー：13,108円(各自払い)
*参加申し込みは終了しました。

~~濱根杯ゴルフコンペ~~

日時：10月25日(火)7:40 集合/8:00 スタート
場所：有馬ロイヤルゴルフクラブ
会費：5,000円
プレーフィー：17,500円(昼食込・各自払い)

~~11月例会~~

日時：11月11日(金) 18:30~(受付18:00)
場所：神港ビル7階会議室
会費：3,000円
講師：西野あすか氏(塾員)
演題：「中山元外務大臣の秘書として外遊に同行した経験を語る」

新入会員紹介

北浦 美好(平11法) 英国紅茶クラブ(教室)
松沢 尚浩(平16経) 佐藤運輸倉庫株式会社
刀禰 ひかり(平24文)
田村 圭子(昭49文)
中村 利充(平18商) ソニー生命保険(株)
山田 積慶(平18法) ネスレ日本(株)
片山 大介(平4理工) 日本維新の会